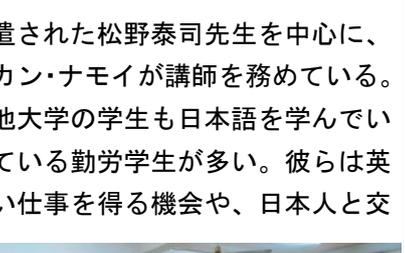


事業名	日本語教育事業
事業分類	被災地、紛争地における自立・復興支援事業
<p>活動理由</p> <p>(1) HG 日本語教室 (チェイ小学校内)</p> <p>HG が活動を始めた 1999 年頃は、チェイ地区は貧しい地区の一つで、子ども達の将来のために日本語を教えてほしいという要望が多く寄せられた。</p> <p>カンボジア国民の多数を占める農家では子どもを手放さざるを得ない貧しい家庭が多く、そのような子ども達がホテル、レストラン、ガイドなどの仕事を見つけて自立できるようにするために 2001 年 6 月に日本から松尾睦先生を派遣しチェイ小学校内で日本語教育を始めた。2014 年 1 月に松尾先生の退職に伴い、一時閉鎖していたが、2015 年 1 学期 (11 月) から再開。この学校で日本語を学んだ卒業生のスライノッチが教師となり、生徒も新たにチェイ小の 3 年～6 年の子ども達を募集した。</p> <p>(2) BBU 大学 (Build Bright University)</p> <p>子ども達だけでなく、青少年の日本語教育への要望があがり BBU 大学外国語センターにて、日本語講座を 2015 年 10 月に開講した。京都民際日本語学校から派遣された松野泰司先生を中心に、チェイ小学校 HG 日本語学校で日本語を学び 2010 年に岡山学芸館高校に留学したカン・ナモイが講師を務めている。授業時間は 60 分から 90 分。現在は 3 クラスを開講し、BBU の学生だけでなく、他大学の学生も日本語を学んでいる。カンボジアの大学生は、昼間はホテルやレストランで働き、夜、大学に通っている勤労学生が多い。彼らは英語を既に話せるが、もう一つの外国語としての日本語を身に付けることで、幅広い仕事を得る機会や、日本人と交流できる仕事を探している。</p> <p>(1) (2) とともに HG が行っている日本語教育には、高等教育という理由で助成金・補助金がなく、団体や個人の寄付で活動を行っている。</p> <p>活動概要</p> <p>1. チェイ小学校 HG 日本語教室 人数：22 名／開講日時：月曜～金曜 午前 10 時～11 時／内容：初級</p> <p>2. BBU 日本語講座 人数と時間：A クラス (13 名) 月曜～木曜 午前 10:45～12:15 B クラス (9 名) 月曜～木曜 午後 5:00～6:00 C クラス (23 名) 月、水、金 午後 5:00～6:00 ・内容：初級～初中級</p> <p>教室訪問・物資支援</p> <p>1月25日、岡山市教育委員会から6名の小中学校の先生達が来訪。2月17日には、大塚倉庫様から8名が来訪された。子ども達の日本語はまだ初級だが、日本人と交流できる数少ないチャンスで、自己紹介をしたり、一緒に折り紙を折ったり、日本のことを聞く時間は、心に残る貴重な時間だった。今後も日本語や日本が好きになる交流を多く持ちたい。日本で集めていただいた文房具、折り紙、絵本楽器などの支援物資をいただいた。</p> <p>卒業生 (チェイ小学校内日本語教室)</p> <p>チェイ小学校の日本語教室で学んだ生徒達は卒業後、日本語ガイド、看護師、日本語教師、地元企業、レストラン、旅行会社など、それぞれ自立して頑張っている。また、卒業生のうち2名 (スライノッチ、ナモイ) がHGのスタッフとして、NCCGと日本語教室で働いている。人材育成事業は時間がかかるが、カンボジア人によるカンボジアの発展を応援したい。</p> <p>今後の活動</p> <p>BBU では、初級クラスだけでなく、中・上級クラスや日本語検定試験対策講座、少人数でのグループレッスンなどを開講し、幅広いニーズに応えていくとともに、日系企業への就職支援や日本への留学支援も手掛けていきたい。</p>	 <p>HG 日本語教室 (チェイ小学校)</p>     <p>BBU の日本語講座 (松野先生)</p>
支援・協力団体	一家成明&理恵、岡山学芸館高校・清秀中学校、岡山外語学院、岡山市立建部中学校、HG チャリティディナー実行委員会、倉敷平成ライオンズクラブ